

広
報

ひろがり

vol. 88
2021/03

福井市PTA連合会

子どもたちのためにつくる地域の未来



楽しみにしていた修学旅行が中止。

遠足になっちゃった…

でもね、中学最後の良い思い出になったの♪

大切な仲間との絆は一生だから大丈夫!!



会長あいさつ



会長：後藤 正邦

この異常な年に、私たち大人は何をしたのか ー地域の未来のための歩みを、共にー

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に世界が狂わされた異常な1年でした。

学校やPTAの関係では、長期にわたる一斉休校、各種大会・コンクールの中止、修学旅行などの主要行事の中止や大幅な予定変更が余儀なくされました。子供たち、特に最上級生には「目標に向かって努力を重ねてきたのに、その目標に対して挑戦することさえできない」という悔し涙を流させ、新入生には計り知れないほどの不安を与えました。

しかし、それでも子供たちは必死に前を向き、ベストを尽くし、頭をひねり、協力し合って、昨年までは無かったような新しい取組みを生み出してくれました。

一方、私たち大人は、どれだけ責任をもった発言や行動ができたでしょうか。不確かな情報に翻弄され続け、ネット上に（明らかに誤ったものを含め）個人情報をおぼろげにさせ、容赦のない非難や誹謗中傷をくり返していたのは、ほかならぬ私たち大人でした。

また、子供たちに「ベストを尽くしている大人の姿」を見せることができたと言え、胸を張って言える大人は、一体どれだけのいるのでしょうか。一時、子供たちから目標を取り上げてしまったのは私たち大人でした。

PTAが歩んできたこの70年あまりの中で、この異常な1年ほど、大人が何をしたのかが問われたことは無かったと思います。

ただ、過ぎ去った1年は取り戻せませんが、私たちは、この反省を活かして、次の1歩につなげることはできます。子供たち、私たち自身、そしてこの地域の明るい未来のために、共に手を取り合って、歩みを進めてまいりましょう。私たち福井市 PTA 連合会は、時には皆さまの先頭で、時にはしんがりに回って、常に皆さまと一緒に歩みを進める団体であり続けたいと念じながら、今後も真摯に誠実に行動してまいります。

福井市 PTA 連合会 この一年

福井市 PTA 連合会はリニューアルしたホームページに加え Facebook も立ち上げ皆さんに情報発信をしてきました

2020.6.20 (土)

年次総会

任期満了に伴う役員改選、次年度活動方針、活動計画、予算などについて承認されました。



2020.8.22 (土)

ブレイクスルー音楽祭

“ブレイクスルー音楽祭 2020” をハーモニーホール大ホールにて行いました。

2020 年に広がった新型コロナウイルス感染症の影響から吹奏楽部など文化系活動の発表の場が中止になってしまったのはやむを得ないことでした。運動部は中体連の夏季大会こそ中止になったものの、一部を除いては、最後の交流試合という目標ができました。しかし吹奏楽部などの文化部はこれまでの成果を発表する機会が失われた状態でした。

福井市 PTA 連合会として何とかしてあげたいという思いから、交流試合に相当するような発表会“ブレイクスルー音楽祭 2020” を企画しました。

実施までに色々対策事項を取り決め、開催当日も感染予防を徹底し役員一同で取り組みました。

参加した子どもたちの素晴らしい演奏がハーモニーホール大ホールの会場に響き渡り、素晴らしい演奏会となりました。

参加した中学3年生の生の声、

「コンクールが中止になり中学校の文化祭で終わりだと思っていたけれど、ハーモニーホールで演奏ができて嬉しかった。」

「コロナ対策もしっかりしていると聞き安心して会場に来られました。」

「中学校の部活動最後に最高の舞台を用意してもらいありがとうございました。」

感謝の気持ちを伝えられ企画運営をした福井市 PTA 連合会役員も大変嬉しかったです。

この企画に賛同し、ご協力頂きました皆様ありがとうございました。



2020.8.26 (水)

学校規模適正化勉強会

福井市教育委員会から議論経過・答申の説明をしていただきました。

また、先行する大野市の学校再編の経緯やPTA目線での問題点・注意点など説明いただきました。



2020.12.5 (土)

福井・永平寺ブロック地区別研修会

講演「子どもの自己肯定感情と親の関わり」

仁愛大学 人間学部 心理学科 准教授 竹村 明子 氏

自分はできるという感覚⇒自己肯定感

どの発達段階で、どの場面で自己肯定感を育てるのが重要か親の関わり方、どのような働きかけをするとよいのか講演して頂きました。



実践発表

・岡保小学校 PTA「わらんべ田」活動を通して昭和54年から現在まで継続されている活動を発表しました。



・森田中学校 PTA「森田中学校アリススクールコンタクト」国際宇宙ステーションに地上の子どもがISSや宇宙科学について質問するイベントを行った活動を発表しました。



2021.1.30 (土)

福井市 PTA 連合会研究大会

福井県自治会館にて、今年度は情報交換会ではなく講演会を行いました。

講演「学校・PTAにおける新型コロナウイルス感染症対策」

福井県済生会病院小児科医 岩井 和之 氏

また、学校規模適正化基調報告も行いました。



2021.2.3 (水)

市長・教育長と語る会

各校からあがった質問・要望を取りまとめ、福井市 PTA 連合会から5つの質問をさせて頂きました。

* 福井市のまちづくりと方向性と学校規模適正化について

* 休校措置中の学習支援および感染症対策について

* 校舎改修工事について

* 通学路の安全確保について

* 低所得世帯に対する支援対策の周知活動について



事務局



事務局：佐々木 望
黒川 啓子
生涯学習課：渡邊 裕貴



研究大会

令和3年1月30日(土)に福井県自治会館において
令和2年度福井市PTA連合会研究大会を開催しました。

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で学校行事やPTA活動に多大な影響が起きた年でありましたが、来年度に向けて行事や活動の在り方を検討し適正な情報を知るとともに、価値観の共有を進めていくことが大切です。

そこで、今年度の研究大会は新型コロナウイルス感染症問題への対処をテーマに取り上げました。

新型コロナウイルスの感染拡大が与えた教育的損失はとても大きいものでした。

子どもたちから教育の機会を奪われないように地域社会が協同して知恵を働かせる時期だとお考えの福井県済生会病院小児科の岩井和之先生に正しい感染対策や、今後の学校行事やPTA活動を取り戻すためにどのようなことをするべきか「学校・PTAにおける新型コロナウイルス感染症対策」と題して講演いただきました。

PTA 会員の皆様と知識の共有をして頂けたらと思い、事前に単位PTAにアンケートを実施し、それに基づいてお話を伺いました。



講演内容

1. 事実に基づいて考え、正當にこわがる
2. 新型コロナウイルス感染症を知る
3. ウイズ・コロナ時代のリスクコミュニケーション
4. 新型コロナワクチンの安全性と有効性

*当日の講演はLIVE配信しました。
福井市PTA連合会YouTubeチャンネルにてご覧いただけます。
是非ともご家族そろってご覧ください。



福井県済生会病院 小児科主任部長
岩井 和之氏

- ・福井県越前市(旧今立郡今立町)出身
- ・福井県済生会病院小児科主任部長
- ・福井県済生会病院院内感染対策委員長
- ・日之出小学校校医、乳児院園医
- ・日本小児科学会認定専門医・指導医
- ・周産期(新生児)専門医
- ・「こどもの心」相談医

感染経路を絶つ!

感染が起こるのは目、鼻、口のみである

クラスター感染を予防するためには、マイクro飛沫感染への注意を怠らないこと!



マスク着用



十分な換気



3密を避ける



ソーシャル
ディスタンス

講演を聞いた保護者たちは...

- ・子供たちに安心、安全な学校生活を送ってもらうには、まず! 大人が正しい情報を持ち、子供たちに伝え、一人一人が感染対策をしっかりすること。
- ・子供の感染は、ほとんどが家族から起こるという事実を改めて認識し、私たち大人が慎重に行動すべき。
- ・学校でクラスターを起こさせないためには大人が感染対策をしっかりして家庭にもちこまない。
- ・事実に基づいた正しい情報を見極める事が大切で情報に振り回されない。子供たちには正しい情報を親が伝え、自分ができること、やるべきことを理解させ行動できるように促していきたい。
- ・一方的な意見を押し付けるのではなく、できることに向かって話し合いを重ねることの大切さを感じ、コロナをおびえるのではなくコロナとうまく付き合いたい。

子供たちの教育環境が良くなるために、可能な限り取り戻すために、子供たちの我慢ではなく、まずは私たち大人が知恵をしぼり校区を中心にした地域の感染対策への協力・連携・理解を進めることが大切であり、学校と地域社会とのコミュニケーションで学校行事ができるように、やる努力をしていきましょう。子供たちの未来のために行動に起こしていきましょう。正しい情報の収集と提供で保護者、学校、地域で取り組み、来年度は子供たちの楽しい行事が増えるようにしていきたいです。

総務委員会



委員長: 福田 智司
副委員長: 内田 嘉昭

学校規模適正化

PTA 対象 全体勉強会に参加して

令和2年8月26日に福井県国際交流会館 多目的ホールにて福井市学校規模適正化 PTA 対象 全体勉強会を行いました。近年は、学校における児童数の増減が著しく危機感をお持ちの保護者の方も少なくないと思われます。そこで今年は学校規模適正化について学ぶ『勉強会』を開催することにしました。来賓に福井市教育委員会様をお迎えして、基本的な考え方から始まり、再編計画、今後の見通しについて、さらには問題点についてもお説明頂きました。また、大野市 PTA 連合会様も来賓としてご参加いただき大野市の再編計画の事例を PTA 目線からお話し頂きました。最後には福井市 PTA 連合会 顧問と会長が議論を交わして前向きなご意見を頂きました。『学校規模適正化』は想像していたよりも深刻で、解決までの時間はあまり無いことに驚きました。この問題は非常に複雑ではありますが、私たち保護者が現状をよく理解して、行政・地域と連携し、子供たちのより良い教育環境を提案していくことが第一歩であると思いました。



特別委員会



委員長：漆崎 直光
副委員長：高木 幸一

研究大会では、学校規模適正化の基調報告も行われ C ブロック、D ブロック、E ブロックの進捗状況を報告しました。

小中学生総合保障制度のご案内



福井市 PTA 連合会は平成6年度より相互扶助を目的として、団体契約による割安な掛金でお子様が直面する様々な危険に対応できる「小中学生総合保証制度」を発足しています。

令和3年度より福井市 PTA 連合会は福井県 PTA 連合会の小中学生総合保障制度と統合となります。

更新プランにつきましては補償同等プランの自動更新および福井県の補償プランからお選びいただけます。

保護者の皆様におかれましては、新年度4月にお届けします冊子をご覧ください、当保障制度にご加入下さいますようお願い申し上げます。

保険期間	2021 年 5 月 1 日午後 4 時から 2022 年 5 月 1 日午後 4 時まで 1 年間
加入方法	「重要事項説明書」「ご加入内容確認事項（意向確認事項）」を必ずご確認ください。 <u>前年同等プランで更新される方</u> 今年度の募集パンフレット等に記載の内容にご同意いただける方につきましては、特段のご加入手続き（加入依頼書のご提出等）は不要です（自動更新になります。）。 <u>新規ご加入の方、変更を希望される方</u> 学校で配布されるパンフレットをご参照いただき、「加入依頼書」の必要事項をご記入・ご署名のうえ、返信封筒に入れて福井県 PTA 連合会まで返送ください。 加入依頼書の記入方法等につきましては、同封の「ご加入依頼書」をご参照ください。 <u>更新を停止される方</u> 学校で配布されるパンフレットをご参照いただき、「加入依頼書」の必要事項をご記入・ご署名のうえ、返信封筒に入れて福井県 PTA 連合会まで返送ください。



★ 福井市 PTA 連合会は 5 つのブロックで出来ています ★

A ブロック



副 会 長：竹内 陽美
ブロック長：竹内 健人
女 性 代 表：押野 佳世
副ブロック長：新海 隆介

2020.8.22 ~ 23

想い鶴

明道中学校生徒会が発案した「想い鶴」を A ブロック事業として企画し、8 月 22 日(土) 23 日(日)の 24 時間 TV で取り上げられました。

コロナ禍で密にならずにみんなで出来ること、医療従事者への感謝を伝える為、福井市内のほぼすべての小中学校が参加し春山小学校体育館へ持ち込まれた鶴の総数は 34 万 3419 羽となり非公式ですがギネス世界記録を更新し募金は約 50 万円となりました。



B ブロック



副 会 長：山岸 悟志
ブロック長：杉本 淳二
女 性 代 表：菊 文代
副ブロック長：笠井 康代

2020.9 ~ 2021.1

2020.11.15

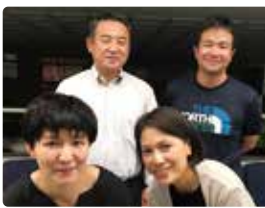
WEBでチャレンジ ワクワクゆめ教室

コロナ禍だからこそこの B ブロック事業開催！！

今年度はコロナのおかげで子供達は寂しい思いをしながら頑張っています。だからこそ、その頑張りを地域も巻き込んで応援しようとの思いで、今年度限定の B ブロックホームページを立ち上げました。また、例年のスポーツ大会に代わり B ブロック 17 校を Zoom でつないで【ワクワクゆめ教室】を開催し、楽しい時間を共有しました。



C ブロック



副 会 長：木村 聡一
ブロック長：長塚 直樹
女 性 代 表：竹内 美和
副ブロック長：宮川 有里

2020.11.28

学校規模適正化 勉強会

11 月 28 日(土) 木ごころ文化ホール・美山公民館にて開催。第一部では福井市自然体験交流推進協議会 前川会長から美山地区の過去事例をご紹介いただき、福井市 PTA 連合 後藤会長からの経緯と現状報告。第 2 部では中学校と地域別の小学校に分かれてのグループディスカッション 第 3 部ではディスカッション内容の発表を行いました。第 2 部でのグループディスカッションでは 50 分で予定されていた時間では足りない程、意見交換が行われました。今回の勉強会をきっかけに、地域内での議論が増えはじめ、未来への力へと繋がる事を期待しています。



D ブロック



副 会 長：浦 克昭
ブロック長：丸木 治男
女 性 代 表：中出 円
副ブロック長：林 健二

2020.10.10 ~ 11

地域連携型親子防災キャンプ

体験してみなくちゃ分からない！

車中泊、テント泊、体育館での段ボールベッド泊。学校での防災キャンプを体験することで、自分でできる事、協力しあうこと、何が必要で、どうしたら良いか等、実際に体験することでしか分からないことが沢山ありました。非常時に親子でどのように連絡を取り合うか等「家族のルール」を話し合うことで災害に備える事を学ぶことが出来ました。



E ブロック



副 会 長：小林 由合
ブロック長：中村 敏明
女 性 代 表：廣濱 洋子
副ブロック長：椿 栄一

2020.9.19

学校規模適正化を考える研究会

パネラーには県 P 佐野会長、市 P 後藤会長を迎えて、答申内容の説明に始まり、実例紹介、今後の取り組みや課題について議論しました。ブロック内は元より、他ブロックからの参加もあり、子供の教育環境という観点からの更なる議論の重要性を感じました。この課題について、各学校だけでは解決できない、また学校間で共通の問題を抱えていることが多く存在し、一度の研修会や単年度の取り組みでは完結しません。少子化に歯止めが掛からない現状において、研修会や意見交換会など、共通の課題を抱えているブロックという単位での活動が求められています。更にはこの問題を含めてブロック内での普段からの意思疎通や親睦にも寄与する、本年度開催できなかった交流事業が再開されることを期待しています。



2020.10.>

足羽第一中学校 母校訪問駅伝

コロナに負けるな！新しい日常とともに変わりゆく学校・地域・子どもたち
半世紀以上も受け継がれる伝統行事を途絶えさせてたまるか！！

守られ続ける地域密着の伝統行事

ひろがり…表紙の女の子3人は足羽第一中学校3年生の生徒です。

楽しみにしていた修学旅行が中止になり芝政に遠足に行った時の写真。

なんで？修学旅行に行きたかったのに…コロナのせいで…でも！中学校生活最後に大切な友達と一緒に、遠足に行けただけで良かった♪楽しかったと話をしてくれました。透き通った青空のもと、満面の笑みで写る姿に心打たれました。

そんな足羽第一中学校の伝統行事 母校訪問駅伝

その名の通り、生徒の出身小学校を巡りタスキを繋いでいきます。

今年で55回目、半世紀以上も受け継がれているのです。生徒や学校だけではなく、PTA役員、保護者、地域の交通指導員など、様々な人達の協力を得て開催されています。

しかし今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、色々な大会や学校行事が中止となり、体育祭は3年生の保護者限定での観覧など制限ばかりでしたが、この伝統行事は子どもたちのためにも、また地域の活力のためにも開催して欲しいと地域住民からの後押しもあったようです。



子どもたちは日頃の体育の授業もコロナ対策として二人組で行うストレッチや声出しはせずに、色々な制限のなかでも、体力を落とさないようなカリキュラムを作り実践してきました。先生方もそんな子どもたちの「成長した姿を地域の方々に見せてあげたい」

「見せる場を設けてあげたい」という思いがあったとのこと。



この駅伝に親子三代で走ったという方もいます。クラス対抗で競う駅伝。走者は30人クラス中20人。他の生徒は記録係や伴走など、全員が何かの役に携わっています。全生徒で作上げる伝統行事です。それを知る地域の方々やPTAもこの駅伝に携わります。我が子や孫が走っていないくても、

隣りの子が走るから、私も20年前に走ったから・・・当日は沿道でたくさんの方が声援をおくれます。

中継箇所が母校の小学校になっています。酒生小学校、一乗小学校、上文殊小学校、東郷小学校、文殊小学校、六条小学校と、6つの小学校を巡ります。

卒業した母校に向けて走り、恩師や後輩に元気な姿を見せることによりお互いが励みになります。到着した母校では激励を受け交流会が毎年行われ小学校6年生の児童は、来年は私が走って母校に来ると意気込むところですが、今年の交流会は中止。しかし、走ってくる先輩の名前を呼び「がんばれー」と声援を送る児童、一生懸命に母校に向けて走る生徒の姿は昨年と何も変わりませんでした。



クラス全員で最終ランナーを待ちます。ゴールのテープを切った生徒には満面の笑み、それを迎える仲間たちも満面の笑みでした。順位はともあれ、一致団結することの大切さも学びます。



これこそ！子どもたちのためにつくる地域の未来！！

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止という判断ではなく、対策をしっかりとしながら今年も受け継がれた母校訪問駅伝は今の子どもたちが大人になっても次の世代に受け継がれるでしょう。そうあって欲しいものです。



みんなの思いが一つになれば必ず願いは叶うはず！がんばれ子どもたち！！



文殊山頂上から福井市内が一望できます

子どもたちが笑顔で活動できるように
福井市PTA連合会はこれからもサポートいたします

1年間 皆様のご協力ご支援 ありがとうございます

役員一同

広報委員会



委員長：村上 佳代
副委員長：室田 佳子